

インピーダンス

日本共産党通研支部
http://impedance.sakura.ne.jp/
jcp.impedance@gmail.com

No. 2619
2023年2月6日
定価 1部10円

子育て支援

教育費負担の抜本的軽減を

志位委員長 代表質問で追及

岸田首相は「異次元の子育て支援」を掲げていますが、一番大きな問題が抜け落ちていきます。政府が2020年に行った意識調査では、育児支援の施策として何が重要かとの設問への回答の第1位は「教育費の軽減」で69.7%です。



日本共産党の志位委員長は1月26日の衆院

代表質問で、高すぎる学費や入学金、若者に借金を背負わせる奨学

金制度、義務教育での給食費など重い負担を

あげ、「この中の一つでも抜本的に改善のメスを入れる意思はあるか」と追及。しかし、首相は「年齢、性別を問わず皆が参加する、次元の異なる少子化対策を実現したい」と述べただけです。

「大規模賃上げと消費税の減税をやってほしい」

「教職員や公務員が多かった」「大英博物館も休館になった」「物価高騰に見合う賃上げに

背を向ける保守党政権への抗議の声だ」「日本

【つらへ続く】



2月も値上げラッシュ。「食品は実質値上げも含めて5000品目にもおよぶ」「1月の都内の物価は4.3%上昇した」「電気代も上がっているし、生活を

イギリスで50万人の賃上げスト(1日)。「50万人参加とはずこ

大軍拡も増税もNO! 賃金あげて消費税さげるYES!

学会議法 改悪中止せよ 学者ら 1200人の署名提出

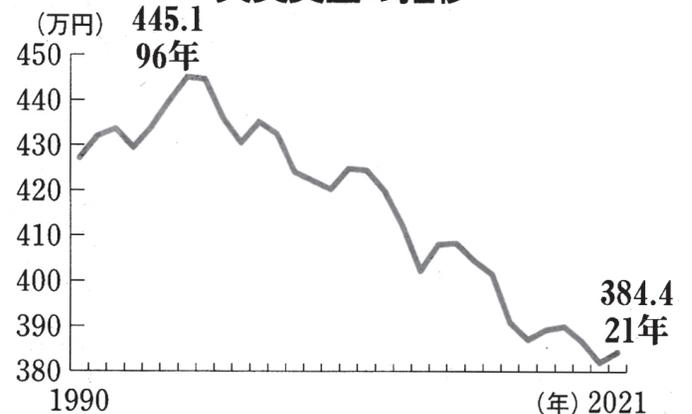
日本学会議法改悪案の策定中止を求めて

いる「大学の危機をのりこえ、明日を拓くフオーラム」は、白川英樹(筑波大学名誉教授、ノーベル化学賞受賞者)、広渡清吾(日本学会議元会長)氏ら48人の学者が呼びかけ人となり、1月7日に声

明を発表。賛同者が1200人を超え、呼びかけ人らが24日、内閣府に署名簿と声明を提出しました。会見で本田由紀・東京大学教授は、学会議が「政府の望むことだけ」をやるようになれば「独裁国家」になると警告。野中郁江・明治大学名誉教授は、「学会議解法」が通れば、「戦後の学問の自由の世界は終わってしまう」と訴えました。

今週の数字

実質賃金の推移



厚生労働省「毎月勤労統計」から作成

日本共産党の外交ビジョン 戦争起こさせない外交を 包摂的な平和の枠組みで

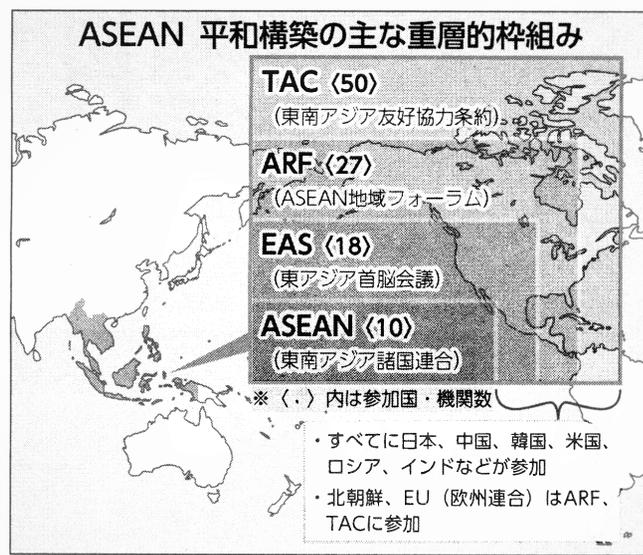
あらゆる紛争を国連憲章に基づき平和的な話し合いで解決する。あれこれの国を排除するのではなく、地域のすべての国を包摂する原則に立って平和の枠組みを築いていく。これが日本共産党の外交ビジョンです。

いまASEANはEAS(図)を強化して、



東アジアを戦争の心配のない地域にしようという「ASEAN・インド太平洋構想」(A

IP)の実現に力を入れていきます。日本も米国も中国もこの構想に支持を表明しています。憲法9条をもつ日本は、この構想が実るようにイニシアチブを発揮していくことが必要ではないでしょうか。



【職場からの続き】

でも春闘をがんばろう

国会。「志位さんは軍拡問題にしぼった鋭い質問だったが、岸田首



相は正面から答えずはぐらかしに終始した「アメリカの戦略についての質問で、日本はアメリカの手のひらでやっていることがよ

く分かった」

「岸田首相の外遊先で長男の首相秘書官が首相の土産を購入。岸田首相はこれを公務だったと明言した」
「あきれた。こんなことは許されない」

自衛隊の立川基地にオスプレイが飛来(1日)。「すごい騒音だった」
「木更津基地のオスプレイで今後月に数回飛来するという」
「こんな訓練やめてもらいたい」

関西電力高浜原発が緊急停止(30日)、「4号機で中性子が急に減少したためと発表された」
「以前にも4号機で同じようなことがあった。老朽原発は直ちに廃止すべきだ」

新型コロナウイルス。

「感染者は減っているように見えるが、病院は逼迫している」
「新しい新型コロナの変異株もでてくる」

「広域窃盗事件。闇サイトを外国から実行者を募り、指令をしていた」
「資産家でなくても



狙われている。事前に様子を探っているらしい」
「不安なのでカメラ付きインターホンをつけようと思う」

立春(4日)。「寒い日が続いている」
「窓断熱の取り付け作業をした」

「戦争か、平和か」の歴史的岐路
強く大きな党をつくり、躍進・勝利を
日本共産党オンライン東京演説会
2月11日(土・祝) 14:00~16:00
メイン弁士 志位和夫委員長
YouTube@JCPTOKYO でご覧になれます

横田基地周辺などPFAS汚染 血中濃度 環境省調査上回る 市民団体が中間結果公表

米軍横田基地周辺など多摩地域の井戸水や井戸水利用の水道水から人体に有害な有機フッ素化合物PFASが見つかったという問題で、市民団体が住民を対象に行った血中PFAS濃度調査の中間結果を発表しました。

調査は国分寺市、小平市など7市の87人に実施。国分寺市の65人は、PFASに属するPFOS、PFOAなど4化合物の濃度が2021年の環境省調査の数値を上回りました。

日本にはPFAS血中濃度に関する基準値はなく、濃度が超過した場合に特別の注意を勧めている米国のガイドランス値をPFOSとPFOAの合計で超え

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円